

としょかん

いわて

岩手県立図書館報

2020.10 No.187

contents

目次

ページ

01

特集

図書館の仕事を体験してもらう

- ・小学生向け一日図書館員で「体験」を「経験」に変える（一関市立藤沢図書館）
- ・中高生のボランティア活動としての就労体験実習（陸前高田市立図書館）
- ・大学生司書課程の図書館実習（岩手県立図書館）

10

レファレンスコーナー

- ・「生き残るのは強いものや賢いものではなく、変化できるものである。」
ダーウィンが言ったとされるこの言葉の出典を知りたい。
- ・昭和 33～34 年頃、森永製菓が新製品キャンペーンのためサーカスとタイアップして象のパレードを行っていたような記憶がある。詳細を確かめたい。

12

児童コーナー わかば通信

みんなで考えた 本の福袋

13

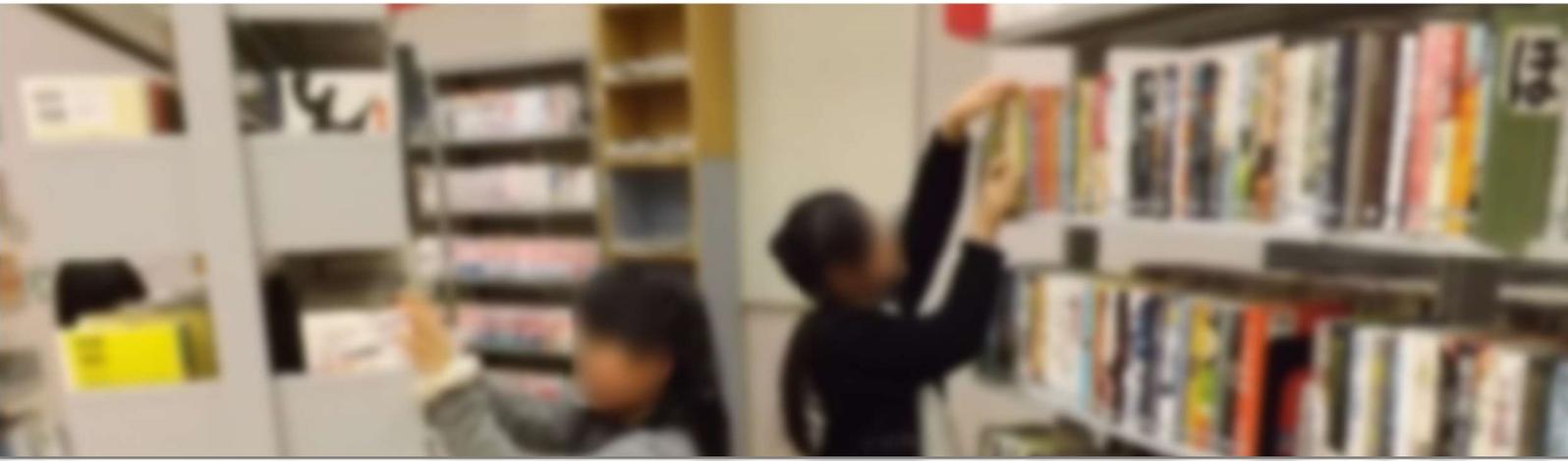
岩手県内図書館紹介

- ・花巻市立石鳥谷図書館

14

図書館掲示板

- ・令和 2 年度 巡回展日程



特集：図書館の仕事を体験してもらう



今回の特集では、県内で行われている、図書館員の仕事を体験してもらう催しや実習を紹介します。図書館員の仕事を体験するといってもそれぞれ目的が異なり、対象も小学生から大学生までと幅広く、その内容も様々です。しかし一体それぞれの館でいったいどんなことを行っているのか、共有される機会は少ないと思います。

今回は、小学生向けに行われた一関市立藤沢図書館の「一日図書館員」、中高生向けに行われた陸前高田市立図書館の「就労体験実習」、岩手県立図書館で行った大学生の「司書課程の図書館実習」を紹介します。

他館ではどんなことが行なわれているのか、内容を知っていただき、企画する際や依頼があった際等の参考にさせていただければ幸いです。

<一関市立藤沢図書館> 小学生向け一日図書館員で 「体験」を「経験」に変える

実習の概要

「一日図書館員」は、藤沢図書館が平成26年度より行っている事業で、毎年小学校の冬休みを利用して藤沢町内の小学3～6年生までの児童を対象に参加者を募り、図書館の仕事を体験してもらうものです。

内容としては、図書館資料の貸出・返却、資料検索などの窓口業務、資料の排架や装備・修理などの資料整理業務と選書の体験です。

実習のコンセプト

本事業は、一関市立図書館サービス計画に基づく児童へのサービスとして、子ども達を本の世界に誘い、知識の入り口に案内することを主な目的としています。

また、図書館の仕事を体験することで地域の図書館をより身近に感じてもらうとともに、業務内容の理解や図書館利用の拡大に繋げることも目指しています。

この事業を行うきっかけは、先に受入れをしていた中学生の職場体験でした。中学に進学するまでの間も公共図書館を利用してきた生徒達でしたが、実際に利用者側では体験することのできない業務の多様さや大変さを目の当たりにしたときの様子から、もっと早い段階で体験の機会を提供できれば、社会教育施設としての役割や可能性も広がるのではないかと考えました。

体験内容は、できるだけ多くの仕事を体験してもらいたい、図書館で購入した1冊1冊の本がどのような工程を経て利用者の手に届くかということも知ってもらいたいと考え組み立てています。

また、参加対象は検討の結果小学3年生以上が妥当とのことになりました。本市採用の教科書『新しい生活 下』には「もっとなかよし まちたんけん」という単元があり、毎年、町内各小学校の2年生全員が図書館見学を訪れます。その際に、図書館の利用案内や館内の見学をしながら質疑応答にも対応するため、基本的な内容は、ある程度理解することができます。そして、その過程を踏まえて実際に図書館業務を体験するという流れが効果的だと考えたからです。

参加者の反応や寄せられた声

参加した子ども達がまず口にするのは、図書館の仕事は想像以上に大変だということです。体験前は、図書館員はカウンターに座っていて仕事が楽そうだとか、仕事に本が読めて羨ましいという印象が強いようです。窓口業務では、カウンターでの利用者への気遣いや緊張感、図書館システムの操作の難しさ、本の並び方の複雑さや本を運ぶ作業など力仕事が大変だと感じるようです。



【貸出の様子】

また、バックヤード作業では本の装備から選書までの一連の流れを経験してもらいます。装備は難しさと同時に装備後の達成感を得られるようです。選書は、普段のリクエストとは違い自分が読みたいものではなく、学校の皆に読んでもらうという視点で季節ものや世の中の状況に合ったもの、友達が興味を持ちそうな本を選んでもらいます。そして、リクエストカードの書き方を復習しつつ、選書した理由も聞きます。

これまで寄せられた感想の中から印象深かったものを紹介します。

- ・図書館のことについてとても詳しく分かりました。本を棚に戻す時なども気をつけて大切に扱いたいです。来年も参加したいです。頑張っ
て読む力をつけたいです。(3年生女子)
- ・お客さんに本を渡したり返したり、話をする時はとても緊張したけど、お客さんが「お疲れ様」と言ってくれたので嬉しかった。(5年生女子)
- ・本を元の場所に返すのがなかなか見つからなくて驚きました。図書館の人がこんなに苦労していることが身体全体にしみました。また色々なイベントにも参加してみたいです。楽しく皆でできたので良かったです。これからもよろしく
お願いします。(3年生女子)
- ・貸出と返却が難しかったけど、楽しかったです。本を選ぶ時、本が沢山あってこんなに本が沢山発売されるんだなと思いました。コート
をかけるのが難しくて失敗してしまいましたが、また一日図書館員をできたら、コートを上手にかけるようにしたい
と思います。(4年生女子)
- ・小学校に持っていく本を選んだり、貸出や返却したりすることも覚えたし、ご飯もみんなで食べたので楽し
かったです。一番きれいに出来たのは装備です。きれいに貼れたのでうれしかったです。(6年生男子)
- ・また一日図書館員をやりたいと思いました。本の修理をして上手いと言ってもらってうれしかったので、
また来たいと思いました。来年もこういう企画をやってください。(4年生女子)
- ・初めてやってみて、こんなことをするんだなあと思いました。折り紙は初めてイノシシを作ってみてきれいに
できてうれしかったし、本を返す時もおもしろかったです。またやりたいです。(3年生男子)
- ・今日は貸出や返却のやり方を教えてもらって、こんなふうなんだなあと感じました。本にカバーをする
時には空気が入るといって

ので、空気が入らないように気を付けてカバーを
しました。(3年生女子)

- ・折り紙を作った時、最初はどうやって折って
いくのか分からなかったけど、みんな折り方を
教えてくれたのでだんだんできるようになり
ました。また皆と一緒にやりたいなあと思
いました。(4年生女子)
- ・カウンターでは、貸出用のパソコンを使
ったりバーコードリーダーを使ったりして
楽しかったです。折り紙も上手にかわい
くできたので、こども園の人たちに喜
んでもらえるとうれしいです。また
こういう機会があったらやりたい
です。(4年生女子)



【装備の様子】

事業を継続する根底には、毎回期待以上の効果が得られるということが挙げられます。一日図書館員に参加した子ども達は、自ら図書館のPRに一役買ってくれるとても頼もしい存在です。友達同士で図書館を利用したり、家族が何か調べたいことや読みたい本があった時に積極的に図書館の使い方を教えて、実際に利用に繋がったという嬉しい光景を見る機会が増えました。そして、何より地域の図書館に愛着が湧き、読書意欲が増すとともに、苦労を共にした仲間と過ごした時間が思いやりや気づきに繋がっていると確信しています。この経験が、いずれ大人になった時に人生の糧となることを信じて、今後もスタッフ一同精進し邁進していきたいと思っています。

(一関市立藤沢図書館 司書主査 菊地 蘭美)

<陸前高田市立図書館> 中高生のボランティア活動と しての就労体験実習

陸前高田市立図書館の概要

陸前高田市立図書館は、昭和 39（1964）年に設置されたが、平成 23（2011）年の東日本大震災の大津波により、甚大な被害を受けました。翌年の平成 24（2012）年には仮設図書館が再開し、平成 29（2017）年 7 月 20 日に、陸前高田市の中心市街地に商業施設と併設した建物として、新図書館が開館しました。

令和 2 年 7 月には入館者数が 39 万人を超え、多くの方に利用されていることがうかがえるのではないかと思います。



実施のきっかけ

陸前高田市では、社会の一員として責任や、自身の将来について考えるきっかけ作りを目的に就労体験事業を行っております。中学生及び高校生が、地域や地元の事業所等の活動にボランティアとして参加し、学校生活での学びではない体験や知識を積んでいます。当館では、図書館の役割やサービスの種類、陸前高田市の特色を生かした施設づくりや、そこで働く職員の思いに触れることを通して、地域の方との繋がりを図る観点から、震災前より生徒の学習の場として受け入れを行っており、令和元年度は中学生 6 人、高校生 6 人

の生徒が参加しました。

実習内容

就労体験実習は 2 日間に分けて行います。1 日目は図書館の役割や館内の紹介、展示本の選書等を行い、2 日目はカウンター業務体験、本のブックコート実習、POP 作成から展示作業までの実習体験を行っています。

実施している内容の中から特徴的なものを紹介します。

カウンター作業

就労体験実習の受入れ当初から継続して体験してもらっています。まず初めに、図書館の役割や司書の仕事、図書館サービスの種類についてオリエンテーションを受け、その後、実際にカウンターに立ち、本や雑誌、CD・DVD の貸出・返却処理のほか、本をジャンルごとに整理して配架する業務を行っています。体験した生徒は、背ラベルと書架を交互に見比べながら、また、何度も書架を行き来しながら元の場所に丁寧に戻していました。さらに、利用者に対する施設内の案内や図書案内などにも、職員とペアを組んで取組んでもらっています。

POP 作成から展示まで



自分のおススメ本を 2 冊選び、館内で紹介展示してもらいます。生徒達は「どういう本を選んだらいいんだろう」「なんと書けば利用者

興味を持ってもらえるだろう」と、悩みながらではありますが、自分で選書した本のPOP作りに最後まで、時間をかけて丁寧に取組んでいました。

ブックコート実習



図書館司書の指導のもと、購入した本のブックコート体験を行います。初めの慣れないうちは空気が入ってしまい、何度もやり直しをしていましたが、集中して取り組んでいました。体験した生徒からは、「普段何気なく借りている本が、図書館の本棚に並ぶまで、たくさんの人たちの手によって準備されているのが分かった」と話していました。

参加した生徒の感想

- ・図書館の仕事は、カウンターでの仕事から、無くなった資料探しまで、様々な事に対応している事が分かりました。
- ・配架などを体験し、本の並びを知ることが出来たおかげで、今までより早く本を探せるようになり、もっと図書館を利用したいと思いました。
- ・カウンター業務や配架作業、装備などの貴重な体験をたくさんさせて頂き、本に囲まれて仕事をする中で、より本が好きになりました。将来は本に関わる仕事がしたいと思うようになりました。
- ・仕事をするということは、ただ本を貸出する

ということではなく、本と同時に誠意も一緒に届けるということなのだ実感しました。



今後について

就労体験は図書館における仕事の役割やサービスの種類を知ってもらう良いきっかけとなったり、実習を通じて普段の学校生活の学びでは体験できない、社会の一員としての責任を感じてもらえることが出来たと思います。今後は、館内業務の他に、移動図書館業務の体験、読み聞かせの体験なども行うことが出来れば、中高生にとって図書館や本がより一層身近な存在となり、親しんで貰えるのではないかと考えています。

震災で図書館としてのすべての機能を失いゼロからのスタートをきりましたが、全国からの温かいご支援のおかげで開館3周年を迎えることが出来ました。この場をお借りして皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後も図書館としての役割を果たしながら、利用者の方々がくつろげる場として、また中心市街地のにぎわい作りに貢献できる場としても利用していただけるよう努力していきたいと思っています。

(陸前高田市立図書館 まつの みき 松野 美樹)

<岩手県立図書館> 大学の司書課程の図書館実習

概要

岩手県立図書館では、大学生の司書課程の図書館実習を受け入れています。

今年は、県内の大学から4年生3名を受け入れました。

実習の日程は、9月7日(月)～18日(金)で土日を休日とし、実質10日間。1日8:30～17:00(1時間の昼休憩)の7時間半としました。

実習期間に入る前に、大学での研究テーマや実習に対する抱負が書かれた「実習生身上書」を受け取りました。そこから私たち司書は、研究の様子や学生の意識を知り、実習に備えます。

そして、服装や健康確認のお願いを伝え、実習当日を迎えました。

実習の内容

岩手県立図書館の業務を、出来るだけ広く学んでいただけるよう、各部署、各現場の担当者が指導を行っていききました。

期間中に指導した主な内容を、実習生の感想を交えて紹介します。

岩手県立図書館の概況説明

要覧などの資料を用いて、岩手県立図書館の概要と図書館運営体制や実施業務の詳細、利用の概況などを説明しました。

【実習生の感想】

- ・要覧は授業で用いることがほとんどなかったため、数字を交え、具体的かつ生々しいときえ言えるような現場のお話を聞いて、素直に驚くことも多々あった。特に図書館運営予算に含まれる資料購入費が年々減少していることを知

り、予算の都合で購入を断念することが後に増えていくと、来館者の減少にも繋がり、更に予算が減少するという悪循環が生じることになるのかなと思った。

館内の施設見学

実際に開架、閉架書庫などを見学しながら、施設や設備の説明を行いました。

【実習生の感想】

- ・工場見学のように見ていてワクワクした。
- ・今の自分は利用しないような、児童向けの書架や設備、車椅子の方に対する施設のバリアフリーや、小さい字が読みにくい方への大活字本など、普段通りの利用ではあまり気付かない利用者への配慮を知ることが出来た。

配架ルールの説明

整架整理の意義、請求記号の構成、具体的な配架方法など、館独自のルールも含めて学んでいただきました。閉架書庫で練習したのち、開架で実践してもらいました。

個人情報保護研修

図書館における個人情報の取り扱いの注意点、について、図書館の自由宣言や倫理綱領にも触れつつお話ししました。

【実習生の感想】

- ・個人情報保護は、将来どんな仕事に就いたとしても活かせるものだと思うので、しっかり覚えておきたい。
- ・個人が借りた資料は、たとえ家族であっても本人以外に本のタイトル等の情報を伝えてはいけないというお話には、目から鱗が落ちた。

サービス第1課の実習

総合カウンターと児童カウンターを担当するサービス第1課は、業務が多岐にわたるため、様々な実習を行いました。行った実習を列記します。

- ・課の業務説明（課の特徴、カウンター業務、書架の管理、ミニ展示等について）
- ・返却ポストの回収
- ・開館前の書架整理
- ・総合カウンター実習（貸出、返却、配架、書架整理、書庫出納、フロアの巡回、利用者カードの発行、背ラベルの貼替、除架作業等）
- ・児童カウンター実習（貸出、返却、配架、書架整理）
- ・一般図書コーナーの配架、書架整理、利用者が触れるペン・画面・かごの消毒
- ・協力貸出の業務説明と、市町村支援室の見学、発送伝票の作成、梱包作業
- ・予約業務の説明（連絡メールの送信）
- ・団体貸出の業務説明（団体書庫で、団体への貸出と返却の手順やルールの説明、書架整理、汚破損の確認、配架等）

【実習生の感想】

- ・総合カウンターは利用が多く、ほとんど絶え間なく貸出や返却をされる方が多く、目まぐるしかった。素早くかつ正確に、そして周りに目を配りながらの作業が必要となること、ただ利用者を待つという受け身な状態にならないことが重要なだと身をもって学んだ。
- ・児童カウンターでは、絵本を一度にたくさん借りていかれる方が多かったので、貸出がスムーズにいかないことがあった。カウンターごとにそういった特色・特長があることを知った。
- ・カウンター業務の流れを見学して、職員の方々が、常に機敏に最短手順で動いており、利用者の時間を無駄にしないその動きが、素晴らしいと思った。また、カウンターでひたすら資料を

取り扱う世間一般のイメージとは異なり、閉架の図書の検索や配架作業など、想像以上に身体をフルに動かす時間が多いことに驚いた。

- ・実際にカウンター業務を行って分かったのだが、利用者を待たせてはならず、まさにランガナタンの五法則にある「利用者の時間を節約せよ」を実感した。
- ・カウンター業務は「接客業」であり、大学内で学んだことや司書課程で得た知識だけでは足りないと感じた。明るい声の出し方や、対話を通してのレファレンス、館内で困っている利用者への声掛け等、仕事をするにあたって自発的に動くことが大切な気がする。

サービス第2課の実習

郷土資料を扱うサービス第2課では、課の業務説明の後、通常入ることの出来ない貴重書庫に入ってもらい、絵図の蔵書点検を行いました。江戸時代の古文書や古地図、宮沢賢治と石川啄木の初版本等、岩手県立図書館が所蔵する貴重な郷土資料に触れていただきました。

【実習生の感想】

- ・二人一組で作業を行ったが、数が多いうえに、一冊が薄いものが多く、数えるのに苦労した。
- ・貴重書の蔵書点検は、数も多く大変だったが、最後に啄木の「一握の砂」や賢治の「春と修羅」の初版本を見せてもらい感動した。

サービス第3課の実習

サービス第3課が担当するのは、逐次刊行物と視聴覚資料です。

毎朝開館前に行っている新聞記事チェック（図書館関係、郷土出版関係、宮沢賢治・石川啄木関係の情報等）をこなしてもらい、開館に間に合うようフロアに新聞を配架してもらいました。その後、課の業務説明（逐次刊行物の管理、視聴覚資料の管理、視聴ブース、映画会、ビジネス支援コーナーの運用等について）を行いました。説明の

中でバリアフリー映画会に興味を持ったようだったので、バリアフリー対応のDVDを視聴体験してもらいました。

【実習生の感想】

- ・毎朝開館時間前に新聞記事をチェックし、図書館に必要とされる内容の記事を収集するなど、図書館自ら情報収集をしているのに驚いた。そのための記事チェックと印刷を開館時間までに済ませるために、新聞の見方に慣れ、早く読み情報を見つけることが大切だと思った。情報収集により、新たな図書館の取り組みやイベントの計画に繋がったり、資料収集の問い合わせに役立てたりしていることに気が付いた。
- ・バリアフリー映画の、目が不自由な方の音声ガイドを初めて聞いた。情景が思い浮かび、目が見える人でも楽しめる音声だったので、聞いて面白かった。

資料管理課の実習

資料管理課では、図書館資料の収集、登録、検収、装備、管理等を行っています。

課の業務説明の後、寄贈資料の所蔵データの登録、装備（小口印、背ラベル・磁気テープ・バーコードの貼付け等）、日々大量に届く郵便物から寄贈資料を仕分ける作業、貴重書のくん蒸作業（貴重書庫からくん蒸室への本の運搬）等を行いました。

【実習生の感想】

- ・くん蒸作業は、貴重書庫から運び出すのが思った以上に大変で、利用者に見えない部分では体を動かす作業も多いと知った。貴重書は、やはり定期的にくん蒸などの対策をとることが重要になるため、管理が難しいんだなと思った。江戸時代の資料でも状態の良いものもあり驚いた。
- ・カウンター業務とは違い、直接的には利用者あまり関わることがない業務だと認識した。し

かし、直接的には関わらないからこそ大事な業務であると思う。顔は合わせずとも、利用者のことを考えて行っており、重要な業務だと感じた。この体験は、実習だからこそ出来たことだと考える。

- ・資料収集と言えば、本のカatalogなどからの注文のみを想像していたため、新聞から流通していない資料の情報を集めたり、印刷会社や学校、博物館などあらゆる施設や団体に問い合わせたりしていると聞き、そのような収集方法があるのかと驚いた。

企画広報課の実習

企画広報課は、館内で最も大きな企画展示と、報道各社や県広聴広報課等への情報提供など広報活動を中心に業務を行っています。

業務説明後に、実際に企画展やその他の担当している展示を見ていただきながら説明し、作成している広報物を確認し、広報物を配布するための準備作業を行いました。

【実習生の感想】

- ・企画展示が、セットとしてまとめられ、美術展のように県内各図書館に巡回展が行われていることを知り驚いた。
- ・広報物は業務委託で製作していると思っていたので、広報担当の方が作成している知りデザイン性の高さに感銘を受けた。また、図書館の行う業務の幅広さにも驚いた。

資料展示の実習

館内各所で行っている資料展示（ミニ展示）をテーマの発案から本選び（30冊程度）、紹介文とポスターの作成、実際の展示作業まで、説明しながら全て行っていただきました。

【実習生の感想】

- ・説明を下さった担当の方から、展示の魅力は、様々な分類の本を一つのテーマに沿って集

めることで、利用者の新たな扉を開くことに繋がると教わり勉強になった。

- ・自分のこだわりを貫くのも大事だが、それ以上に仕事を終わらせられるかをきちんと把握し、テキパキとこなすことが大事だと身をもって知った。
- ・自分自身はよく図書館を利用しているので展示等を見かけるが、いざ自分で発案し一つ展示を作るとなったときに、非常に難しいことに気付いた。展示を見る利用者層や展示を行うときの資料が十分にあるかどうかなど、考えなければいけないことが多く、テーマを決めてもぶれてしまい、まさに奥深い世界だなと感じた。
- ・展示を企画しコーナーを作成することを、他の業務と並行して行っていると伺いとても驚いた。

レファレンス実習

レファレンスサービスの意味と種類、レファレンスのプロセスや、レファレンスインタビューの理論と技術、種類、発想を広げる手法とコツについて説明しました。その後、実際に例題を使い、どのワードに着目し、どのような視点で調査すると良いか等のアドバイスをを行いました。

【実習生の感想】

- ・参考図書の利用や目星の付け方、調べる単語に関連する分類など覚えておいた方が良い点を教えていただいたのでしっかり覚えておきたい。利用者の時間を節約することも考えると、今回実際に行ってみて非常に大変な業務なのだと感じた。
- ・普段から周りに目を向け情報を吸収していないと、対応した利用者の方の質問や社会情勢の情報等に、いざというときに対応することができないと痛感した。
- ・授業でやるよりも難しく感じた。キーワードにとらわれすぎず、調査の種類やイメージマップ

を考えながら探索することの難しさとコツを学んだ。

搬送便の実習

市町村支援室にて、搬送便事業の概要を説明し、相互貸借資料の梱包等の発送準備を行いました。搬送便を運用するにあたっての日程の組み方についても説明しました。

【実習生の感想】

- ・発送準備を行ったとき、大きな資料の後ろに小さな資料が重なっており、冊数を点検した際に数が合わず焦ったので、どんな作業も確認が大切だと感じた。

実習終了後

実習期間中は、一日の終わりに学生が書いた実習日誌の提出を毎日受け取り、指導した担当者は所見を記入していきました。

そして、研修期間終了後は、大学が用意した評価表を各実習生の分記入し、大学へ返送しました。

司書課程の図書館実習は、将来、実際に図書館に勤務する可能性のある学生もおり、指導する業務は、極力実践に基づき多岐にわたるよう心がけています。

今回の図書館実習に限ったことではありませんが、図書館の仕事を体験してもらったり、実習を行ったりすることは、ひとつの業務としてどのような日程で何を実施するか等、担当する職員の時間も労力もかかるものだと思います。

実習生たちには、将来の就労の際の役に少しでも活かされればと切に願います。

（岩手県立図書館 なべくら けんいち 鍋倉 健一）

レファレンスコーナー

県立図書館に寄せられたレファレンスの事例を紹介します。

Q. 「生き残るのは強いものや賢いものではなく、変化できるものである。」
ダーウィンが言ったとされるこの言葉の出典を知りたい。

〔回答〕

まずは名言・名句辞典類を調査しましたが、ダーウィンの項に上記の言葉は確認できませんでした。次に当館所蔵のダーウィンの著作物や、その解説資料を調査しました。『種の起原』第4章では「自然淘汰、最適者の生存」について書かれていますが、ここでも上記の言葉は確認できませんでした。

翻訳による微妙なニュアンスの違いかもしれない、ということも考えました。しかし、解説によれば、ダーウィンの論ずる最適者の生存とは「生き残るものを選択するのはあくまで自然の側であり、たまたま生き残ったものの特徴が種の特徴として残る」ということに過ぎない、と書かれています。「変化できるものが生き残る」という主旨の言葉は見つかりませんでした。

続いてダーウィン自身について書かれた資料を調査したところ、『世界を変えた科学者たち』に「ダーウィン自身が使用したフレーズではない」との記述を発見しました。同様の記述は他の資料にも見られましたが、では誰の言葉なのかということに言及している資料は見つかりませんでした。

さらに調査の範囲を広げて生物学に関連する資料を見ていくと、『鳥！驚異の知能』の中に、以下の記述を確認しました。

「存続できるものはもっとも強い種でも、もっとも賢い種でもない……それは変化にいちばんよく適応する種である」これはチャールズ・ダーウィンの言葉とされることが多い（中略）が、こう述べたのはじつはルイジアナ州立大学のマーケティング教授レオン・メギンソンだ。”

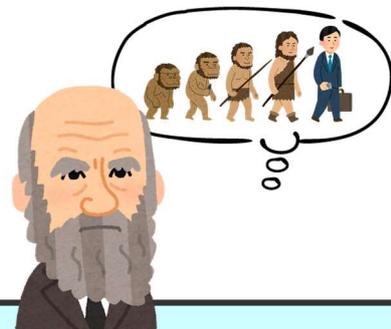
この記述をもとにレオン・メギンソンについて調べていくと、ケンブリッジ大学が公開するwebサイト「Darwin Correspondence Project」にて上記の言葉の出典を確認することができました。「evolution misquotation（進化論の誤引用）」という記事で、メギンソン氏の論文「Lessons from Europe for American Business」を引用して紹介しています。

どうやら、ダーウィンの生物進化論を独自解釈したメギンソン氏の言葉が、伝言ゲームのように後世に伝わり、いつのまにかダーウィンの言葉とされてしまったようです。とても興味深い事例でした。

キーワード：ダーウィン 種の起原 進化論 生物学

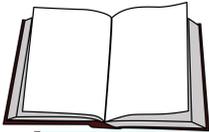
〔調査プロセス〕

1. 名言・名句辞典を調査。
2. ダーウィン著作物や進化論に関する資料を調査。
3. 生物学に関する資料を調査。
4. レオン・メギンソンについて調査。



〔参考資料〕 ※（ ）内は当館請求記号

- 1 『種の起原』チャールズ ロバート ダーウィン // [著] 堀 伸夫 // 訳 1988 (467/ダ 1/5)
- 2 『世界を変えた科学者たち』ジョン ファーンドン // 著 長田 享一 // 訳 2018 (402.8/ア)
- 3 『ダーウィンをめぐる人々』松永 俊男 // 著 1987 (280.8/ア 2/1)
- 4 『鳥！驚異の知能 道具をつくり、心を読み、確率を理解する』
ジェニファー アッカーマン // 著 鍛原 多恵子 // 訳 2018 (Y/488.1/アツ)
- 5 「Darwin Correspondence Project」 University of Cambridge
<https://www.darwinproject.ac.uk/evolution-misquotation>(最終アクセス:2020年8月3日)



Q. 昭和 33～34 年頃、森永製菓が新製品キャンペーンのためサーカスとタイアップして象のパレードを行っていたような記憶がある。詳細を確かめたい。
(一関市立一関図書館からの協力レファレンス依頼)

〔回答〕

まず、表題にある新製品キャンペーンの詳細を確認するため、森永製菓の社史を調査しました。

『森永製菓 100 年史』によると、昭和 32 年 10 月から翌年の昭和 33 年 10 月にかけて新製品トッフィーキャラメルの販促キャンペーンが実施されており、ロボット象の「トッフィー君」が全国を訪問しています。質問者の記憶にある製菓会社の象のパレードは、時期的にもこの「トッフィー君」の全国行脚ではないかと推測されます。当時の訪問先は全国 162 都市、総行程は 2 万キロに及び、「トッフィー君」の約 1 年がかりの歩行の旅は各地で大きな宣伝効果を上げました。

森永製菓の公式サイトによると、「トッフィー君」は本物の牙をつけ 25 馬力の自動車用エンジンが搭載された世界初のロボット象で、高さ 2.4 メートル、体長 3.15 メートルもありました。さらに巨体だけでなく首や鼻を動かすこともできるという精巧な造りをしており、「トッフィー君」がのっしのっしと歩くさまは遠目には本物の象と区別がつかなかったそうです。そのため質問者の記憶にも「トッフィー君」が本物の象として刻まれたのではないのでしょうか。

この「トッフィー君」のパレードの賑わいは全国各地の新聞、ラジオ、テレビ等で報道もされ、岩手には昭和 33 年 8 月に来県しました。「本物そっくりの人造象」の訪問予定の記事が当時の『もりおか新聞』に掲載されています。昭和 33 年 8 月 7 日付けの同紙には、昭和 33 年 8 月 16 日に青森から岩手入りし、16 日・17 日に盛岡市内を回る予定であることが書かれています。

上記について一関市立一関図書館へ伝えたところ、昭和 33 年 8 月 19 日発行の『岩手日日』にも「トッフィー君」の情報が掲載されていることがわかりました。その掲載記事、広告によると、一関には 8 月 21 日に訪れています。「トッフィー君」は各地の菓子店を回り、子ども向けにクイズや抽選などを行っていたようです。

キーワード：森永製菓 象 製品キャンペーン

〔調査プロセス〕

1. 森永製菓の社史を確認。
2. 当時の新聞・雑誌記事を確認。
3. 上記を一関市立一関図書館へ報告。「岩手日日」掲載情報を取得。



【参考文献】() 内は当館請求記号

1. 『森永製菓 100 年史 はばたくエンゼル、一世紀』森永製菓 2000 年 (588.3/モリ/)
2. 『もりおか新聞』昭和 33 年 8 月 7 日 もりおか新聞社
3. 『岩手日日』(マイクロ資料) 昭和 33 年 8 月 19 日 《一関市立一関図書館所蔵》
4. 森永製菓株式会社公式サイト「森永ミュージアム ロボット象トッフィー君」
※最終確認：2020 年 8 月 5 日

<https://www.morinaga.co.jp/museum/history/detail/product/170>

※このレファレンスの詳細は「レファレンス協同データベース」で公開しています。是非ご覧ください。

「レファレンス協同データベース」<http://crd.ndl.go.jp/jp/public/>



みんなで考えた 本の福袋



児童コーナーでは、昨年も好評だった本の福袋をお正月に開催しました。

今年の福袋を考えたのは、なんと、子どもたち！

この年代の子には、こんな本が喜ばれるのかと、私たちが勉強になりました。福袋には、中身が想像できるような「テーマ」をスタッフが考え、だるまの折り紙と一緒に貼り付けます。

「おしり！」「むかしむかし」といった、おもしろいテーマの福袋がたくさんできました。

自分が選んだ本は借りられたかな…？

他のお友達はどんな本を選んだのかな…？

いつもとはちょっと違った、ドキドキワクワクが楽しめた本の福袋でした♪



しおりは、盛岡峰南高等支援学校さんからいただきました



オススメの本を2冊えらんでもらいます
小さなお友達からは、おもしろかった
絵本のタイトルを思い出してもらいます

子ども達がえらんだ本に
スタッフのオススメの1冊
も加えて、福袋を作ります



福袋は4種類
「幼児向け」「低学年向け」
「中学年向け」「高学年向け」



「僕がえらんだ本はどれだろう？」
自分でえらんだ本も気になるし…
他のお友達がえらんだ本にも興味津々



自分がえらんだ本を、誰かに読んでもらうのって、たのしいね♪



岩手県内図書館紹介

岩手県内各地の図書館を紹介いたします！



図書館名	花巻市立石鳥谷図書館		
所在地	〒028-3171 岩手県花巻市石鳥谷町中寺林 7-5-1 TEL:0198-45-6882 FAX:0198-29-4006 https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/tosyokan/1002048.html		
施設の概況と利用状況	開館	平成5年5月5日	
	延べ床面積	1,371.30㎡	
	構造	RC2階建	
	蔵書数	123,988冊(令和2年4月現在)	
	登録者数	4,164人(令和2年4月現在)	
	利用者数	41,554人(令和元年度)	
図書館の特徴	<p>石鳥谷図書館は、国道4号線沿いの道の駅石鳥谷の敷地内にあります。石鳥谷が南部杜氏のゆかりの地でもあることから、酒に関する資料を収集しています。醸造関係から料理、エッセイまで幅広く揃っています。</p> <p>館内にはレファレンス室、酒造資料室、学習室、市民ギャラリー、視聴覚室のほか、児童室内には親子向けスペースもあり、絵本の読み聞かせなどができます。また、AVブース、インターネットコーナー、OA席を設置し、無料Wi-Fiが利用できます。図書や視聴覚資料のほか、複製絵画の貸出しも行っています。移動図書館車として「ぼら一の号」を運行し、地域や学校、事業所での巡回貸出を行っています。</p>		
主な事業など	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜わくわくタイム 毎週土曜日の午後2時から幼児・小学生向けのおはなし会と映画上映 ・日曜映画会 ・おばけ映画会 ・本のリサイクル広場 ・実はすごい!!石鳥谷の匠展などの企画展示 		

図書館掲示板

令和2年度巡回展

毎年岩手県立図書館では、学習機会の提供と読書の普及奨励に資するために、過去に行われた企画展の展示資料を再構成してひとまとめにし、申し込みのあった市町村立図書館等へ貸出を行っています。

今年度もたくさんのお申込みをいただき、誠にありがとうございました。

寄せられた希望の日程を調整し、次ページからの日程で開催される予定となりました。

巡回が始まる2週間ほど前には、当館HPの「市町村立図書館等ログイン」内の「コミュニティ→ライブラリー→展示資料施設貸出（巡回展）」にポスターと目録を投稿いたします。展示開催前の告知や配布用目録の印刷、自館の資料を合わせて展示する用意をするなど、事前の準備にご利用いただけます。

今年度の巡回展は、以下のテーマの展示を巡回します。

文学賞受賞図書展

令和2年7月に岩手県立図書館で行った展示の巡回展です。令和元年6月から令和2年5月までの間に発表された文学賞のうち、岩手県立図書館所蔵図書をまとめたものです。県内13カ所を巡回します。

岩手の保健福祉 1960～70年代を中心に

令和2年5～7月に、岩手県立図書館で行った展示の巡回展です。旧沢内村がかつて国に先駆けて行った老人医療費無料化の事績をはじめとした、岩手県内の医療・保健福祉分野における顕著な取り組みを紹介するものです。県内16カ所を巡回します。

おらほのことば ～橋正一没後80年～

令和2年8～10月に、岩手県立図書館で行った展示の巡回展です。岩手県内で使われてきた方言についての資料を、盛岡市出身の方言学者・橋正一をはじめとした研究者の足跡とともに紹介するものです。県内16カ所を巡回します。

啄木資料展

令和2年10～令和3年1月に、岩手県立図書館で行った展示の巡回展です。過去2年間に岩手県立図書館が新たに収集した石川啄木関連図書です。県内11カ所を巡回します。

『文学賞受賞図書展』 展示資料貸出期間一覧表

No	貸出期間		貸出施設名	移送期限	移送先
1	2020年	8月28日(金)～9月6日(日)	釜石市立図書館	9月10日(木)	八幡平市立図書館
2		9月11日(金)～9月20日(日)	八幡平市立図書館	9月24日(木)	大槌町立図書館
3		9月25日(金)～10月4日(日)	大槌町立図書館	10月8日(木)	岩泉町立図書館
4		10月9日(金)～10月18日(日)	岩泉町立図書館	10月22日(木)	花巻市立花巻図書館
5		10月23日(金)～11月1日(日)	花巻市立花巻図書館	11月5日(木)	花巻市立東和図書館
6		11月6日(金)～11月15日(日)	花巻市立東和図書館	11月19日(木)	奥州市立江刺図書館
7		11月20日(金)～11月29日(日)	奥州市立江刺図書館	12月3日(木)	盛岡市渋民図書館
8		12月4日(金)～12月13日(日)	盛岡市渋民図書館	12月17日(木)	二戸市立図書館
9	2021年	1月22日(金)～1月31日(日)	二戸市立図書館	2月4日(木)	山田町立図書館
10		4月30日(金)～5月9日(日)	山田町立図書館	5月13日(木)	久慈市立山形図書館
11		5月14日(金)～5月23日(日)	久慈市立山形図書館	5月27日(木)	久慈市立図書館
12		5月28日(金)～6月6日(日)	久慈市立図書館	6月10日(木)	紫波町図書館
13		7月23日(金)～8月1日(日)	紫波町図書館	8月5日(木)	岩手県立図書館

『岩手の保健福祉 1960～70年代を中心に』展示資料貸出期間一覧表

No	貸出期間		貸出施設名	移送期限	移送先
1	2020年	8月28日(金)～9月6日(日)	一関市立大東図書館	9月10日(木)	花巻市立大迫図書館
2		9月11日(金)～9月20日(日)	花巻市立大迫図書館	9月24日(木)	山田町立図書館
3		9月25日(金)～10月4日(日)	山田町立図書館	10月8日(木)	一戸町立図書館
4		10月9日(金)～10月18日(日)	一戸町立図書館	10月22日(木)	矢巾町図書センター
5		10月23日(金)～11月1日(日)	矢巾町図書センター	11月5日(木)	北上市立中央図書館
6		11月6日(金)～11月15日(日)	北上市立中央図書館	11月19日(木)	大槌町立図書館
7		11月20日(金)～11月29日(日)	大槌町立図書館	12月3日(木)	久慈市立図書館
8	2021年	1月8日(金)～1月17日(日)	久慈市立図書館	1月21日(木)	釜石市立図書館
9		1月22日(金)～1月31日(日)	釜石市立図書館	2月4日(木)	陸前高田市立図書館
10		2月5日(金)～2月14日(日)	陸前高田市立図書館	2月18日(木)	岩泉町立図書館
11		2月19日(金)～2月28日(日)	岩泉町立図書館	3月4日(木)	紫波町図書館
12		3月5日(金)～3月14日(日)	紫波町図書館	3月18日(木)	八幡平市立図書館
13		3月19日(金)～3月28日(日)	八幡平市立図書館	4月1日(木)	盛岡市渋民図書館
14		4月2日(金)～4月11日(日)	盛岡市渋民図書館	4月15日(木)	久慈市立山形図書館
15		4月16日(金)～4月25日(日)	久慈市立山形図書館	4月29日(木)	花巻市立花巻図書館
16		4月30日(金)～5月9日(日)	花巻市立花巻図書館	5月13日(木)	花巻市立花巻図書館

『おらほのことば ～橘正一没後80年～』 展示資料貸出期間一覧表

No	貸出期間			貸出施設名	移送期限	移送先	
1	2020年	10月23日(金)	～	11月1日(日)	葛巻町公民館図書室	11月5日(木)	花巻市立大迫図書館
2		11月6日(金)	～	11月15日(日)	花巻市立大迫図書館	11月19日(木)	岩泉町立図書館
3		11月20日(金)	～	11月29日(日)	岩泉町立図書館	12月3日(木)	二戸市立図書館
4		12月4日(金)	～	12月13日(日)	二戸市立図書館	12月17日(木)	盛岡市渋民図書館
5	2021年	1月8日(金)	～	1月17日(日)	盛岡市渋民図書館	1月21日(木)	一戸町立図書館
6		1月22日(金)	～	1月31日(日)	一戸町立図書館	2月4日(木)	釜石市立図書館
7		2月5日(金)	～	2月14日(日)	釜石市立図書館	2月18日(木)	陸前高田市立図書館
8		2月19日(金)	～	2月28日(日)	陸前高田市立図書館	3月4日(木)	花巻市立花巻図書館
9		3月5日(金)	～	3月14日(日)	花巻市立花巻図書館	3月18日(木)	大槌町立図書館
10		3月19日(金)	～	3月28日(日)	大槌町立図書館	4月1日(木)	山田町立図書館
11		4月2日(金)	～	4月11日(日)	山田町立図書館	4月15日(木)	久慈市立図書館
12		4月30日(金)	～	5月9日(日)	久慈市立図書館	5月13日(木)	花巻市立東和図書館
13		5月14日(金)	～	5月23日(日)	花巻市立東和図書館	5月27日(木)	紫波町図書館
14		5月28日(金)	～	6月6日(日)	紫波町図書館	6月10日(木)	八幡平市立図書館
15		6月11日(金)	～	6月20日(日)	八幡平市立図書館	6月24日(木)	久慈市立山形図書館
16		7月9日(金)	～	7月18日(日)	久慈市立山形図書館	7月22日(木)	岩手県立図書館

『啄木資料展』 展示資料貸出期間一覧表

No	貸出期間			貸出施設名	移送期限	移送先	
1	2021年	2月19日(金)	～	2月28日(日)	九戸村公民館図書室	3月4日(木)	盛岡市渋民図書館
2		3月5日(金)	～	3月14日(日)	盛岡市渋民図書館	3月18日(木)	釜石市立図書館
3		3月19日(金)	～	3月28日(日)	釜石市立図書館	4月1日(木)	矢巾町図書センター
4		4月2日(金)	～	4月11日(日)	矢巾町図書センター	4月15日(木)	岩泉町立図書館
5		4月16日(金)	～	4月25日(日)	岩泉町立図書館	4月29日(木)	一戸町立図書館
6		4月30日(金)	～	5月9日(日)	一戸町立図書館	5月13日(木)	北上市立中央図書館
7		5月14日(金)	～	5月23日(日)	北上市立中央図書館	5月27日(木)	山田町立図書館
8		6月11日(金)	～	6月20日(日)	山田町立図書館	6月24日(木)	大槌町立図書館
9		6月25日(金)	～	7月4日(日)	大槌町立図書館	7月8日(木)	久慈市立図書館
10		7月9日(金)	～	7月18日(日)	久慈市立図書館	7月22日(木)	花巻市立石鳥谷図書館
11		7月23日(金)	～	8月1日(日)	花巻市立石鳥谷図書館	8月5日(木)	岩手県立図書館

岩手県立図書館報

としよかん いわて

No. 187

発行日 令和2年10月15日

編集・発行 岩手県立図書館